

秋深し 思いつくまま 世相雑感

### <1> これで良いのか少子化対策

我が国の主要課題のひとつとして「少子化対策」という言葉が世に出てもうかなりの年月が流れた。

永田町周辺から出て来る対策、地方自治体が手を付ける施策にはかなりの違和感を感じている。

「少子化」の真の原因を掘り下げて対策を打つというものは全くなく、「子育て支援」という名が付いた「少子化」という結果をうけての対策ばかりが聞こえてくる。少ない子どもを如何にして育てるか？そこにどの位の金をばらまいて行くか？という視点のものばかりが出て来る。これも不要とは思わないが、本当に必要なことはこういうことではなく、「少子化の背景に何があるのか？」「少子化の原因となっているものは何か？」をつきつめて、そこに対策を打って行く必要があるのではないかと思っている。

その昔学んだことがある品質管理の中で、「現象や結果に対して手を打つ」のではなく、その結果をもたらした「真の原因に対して手を打つ」ことをせねば再発防止策にはならないことを教わった。

少子化対策をこの視点でとらえて行くと、他の課題との関連が良く見えてくるのではないかと思っている。結婚適齢年齢の人口が少なくなってきたこと、結婚しない人が増えてきたこと、結婚できない人が増えてきたこと、結婚したが子どもがいない夫婦や一人っ子の家庭が増えてきたこと等が見えて来る。そしてこの原因となっているものを掘り出していくことで「打たなければならない対策」が見えてくるのではないか。今の流れで一世代進むと人口減少傾向がさらに進むことになり、さらに一世代進むと・・・。

### <2> 新幹線 50 年と騒いでいるが・・・

東海道新幹線が開通して 50 年、東京オリンピックから 50 年と騒いでいる。東京オリンピックが再び実現することになり、その一環として騒いでいる部分もあるようだ。

東海道新幹線は東京・名古屋・大阪の三大都市を結び、我が国が三つの大きな経済圏から成り立っていることを顕在化し、それぞれの力の相乗効果を演出した。そして高速道路ともども様々な形で経済効果を創出した。山陽新幹線となり西へ延びた結果、関門海峡を抜けて博多まで繋がる大動脈が出来上がった。

東北新幹線は東京と福島・仙台とを繋ぎ、後に盛岡へそして青森へと伸びて行き、上越新幹線は東京・新潟間、長野新幹線は東京・長野間を結び、今北陸新幹線の開通を待つ状態まで進んできた。

ここまでを整理して見ると、「主要大都市間を有機的に繋ぐ東海道新幹線」と、東京と東北・東京と新潟・東京と長野を放射状に繋ぐだけの「東京とのパイプ」だけのその他の新幹線との二つに整理できる。

後者の新幹線は新幹線が停車しない中間都市の衰退化を招き、東京圏の商店や商品が地方に襲いかかり地場の産業を駄目にしてしまった。

東海道新幹線・山陽新幹線が着々と稼ぎ東北新幹線の工事が進む頃、仙台や青森から博多行が走り博多から新潟行が走ることを想像した人は少なくない。我が国の鉄道技術をして難しいことではない筈だが実現していない。東京と地方とを結ぶだけの「東京一極集中」を支援するインフラに終わってしまっていることは大変残念なことである。

高速道路と新幹線が地方都市を生きていけなくしてしまったにも関わらず、「地方再生」とか「地方創生」とか言われてもピンと来ない。この上さらに「リニヤ新幹線」がにわかに具体化してきたが、根底にある基本政策（基本理念）が見えずに「新しいインフラだけが先行」して良いのだろうか？

### <3> 日本丸はどこへ？

経済産業大臣と法務大臣が早くも辞任。安倍政権のボロが少しずつ出始めてきたのか？

経済産業大臣の「明治座観劇ツアー問題」は素人が見ても解りやすい不手際で、もはや不手際とも言えないような内容である。大臣本人が「私の目で見ても明らかにおかしいので良く調べたい・・・」と言う。

会計処理は会計担当がやるだろうが、その結末の照査・承認は「長たる者」がすべきことで、いかなる内容

であれ「長に責任がある」ことは免れられない。企業の会計処理上に不手際があつて社会問題となった場合、社長が責任を負うことになるだろうが、政治家の金がらみの事件の場合ほとんどが「会計処理をしたものの不手際で、私はあずかり知らぬ」という弁明が正当化されている。大臣辞任の日、会計処理を担当した責任者として中之条町の町長も辞任を発表した。毎度のことながら異常な世界の出来事と言わなければならない。法務大臣は法令順守の頂点に立つ者である。その位置にあるものが怪しげな行動を取るのであれば、世の中の平定はおぼつかない。ふてぶてしく「今でも違法とは思っていない」と捨て台詞を残して辞任の記者会見を終え、顔は終始笑っており問題認識は全くないと思える。

この程度の器の人達が国の政治を操るといふことにいささか不安を覚える。「次に問題を起こしそうな大臣はあの人だろう」とか、「次のターゲットはあの大臣だ」とか言う動きも出始めている。

野党各党は素人受けする事件が飛び出してきたので、これを道具として国会で攻撃の矢を放つだろう。かくして国政はまた混乱遅滞を招くかもしれない。

韓国・中国に揺さぶられ、北朝鮮にも足元を見透かされているような環境の中で、財政逼迫の自覚がない上に策なくばらまき政治に走る内なる問題を抱えて、日本丸はどこへ行くのやら・・・。

#### <4> 大相撲今年の納めの場所

三十年以上昔のことになってしまったが、福岡市に転勤して四年間を過ごした。福岡在住の四年間に実感したことが未だに頭の片隅に残っている。

「博多はマラソンと相撲が終わると正月準備」と言われるほどに 11 月のこのふたつの行事は季節の風物詩になっていた。国道で寒空に首を縮めて走り抜ける選手を見送った福岡マラソン、バスに乗っていても町を歩いていても匂って来る鬢付け油、これが終わると本格的な冬になり、柳橋の市場がにぎわって来る。

11 月 9 日に初日を迎える大相撲九州場所は見所が満載だ。

横綱白鵬が 32 回目の優勝を果たせば大鵬に並ぶ大記録となる。やや全盛期を過ぎたかなと思えるような相撲がうかがえるようになりはしたが、まだ先が見えた訳でもない。おそらく 35 回位まで優勝回数を伸ばすことは十分に考えられる。

逸ノ城が入幕から二場所目で新関脇に座ってしまった。辛うじてちょん髷が結えた程度の若手力士にここまでの進出を許してしまった先輩力士達はどう考えているのだろうか。何とかここで跳ね返して壁になって欲しいものである。

衆目が逸ノ城に集まっているようであるが、私は新小結の勢に注目している。特別大きな体でもないが、きちんとした四つ相撲の型を持っているという点と、毎場所研究の成果が相撲内容に現れており、星勘定とは関係なく着実に伸びている感じがしている。体格や腕力に頼らない正統派力士としても大いに期待している。安美錦・豪風などのベテラン力士の活躍も期待できるし・・・。

日本人力士の活躍が欲しいと思っている方も数多くいることと思うが、まずは国籍に拘らず「相撲の面白さ」を楽しんでもらいたい。四人の新十両力士は全員が日本人なので、どうしても国籍に拘りたい方には十両の土俵をお勧めしたい。誰が抜け出して上に向かっていくだろうか、これも見所のひとつだろうと思う。

以上